

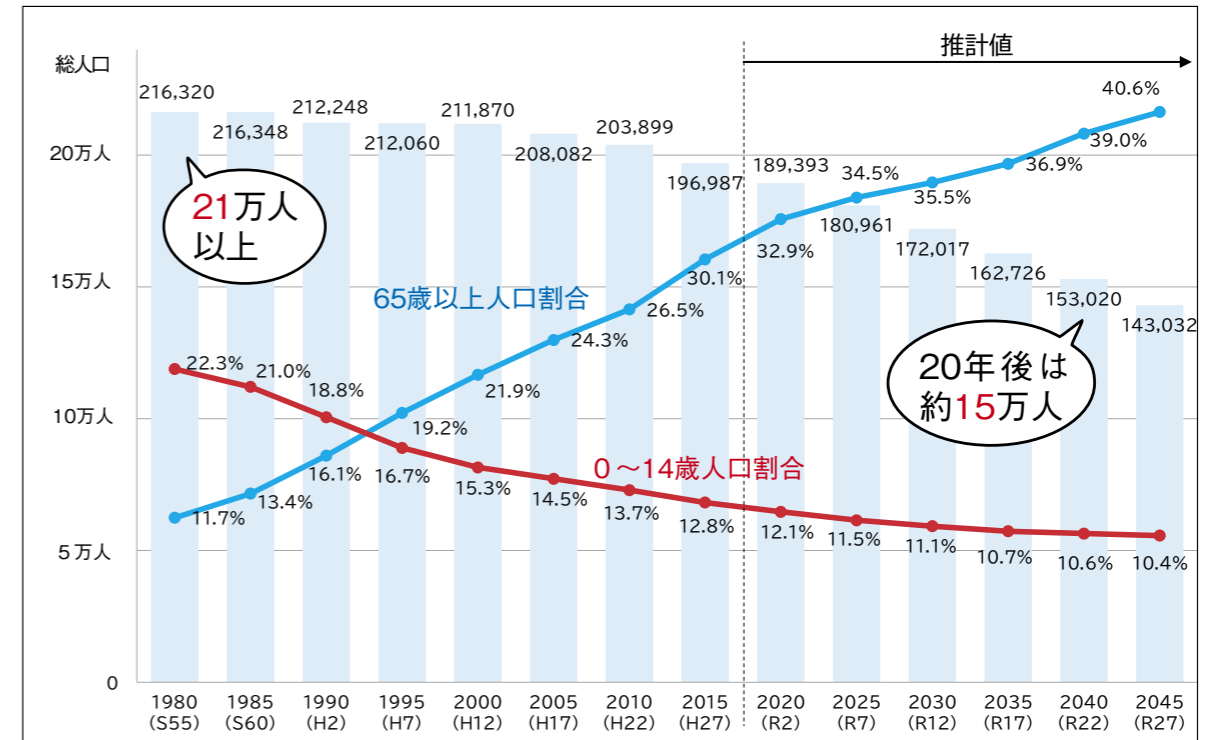
人口減少を知ろう！考えよう！行動しよう！

市では、人口減少の緩和と人口減少社会であっても持続可能なまちの形成に向けて、「第2期上越まち・ひと・しごと創生総合戦略」（計画期間：令和2年度～6年度）を策定し、さまざまな主体の皆さんとともに地域を挙げた取り組みを推進しています。

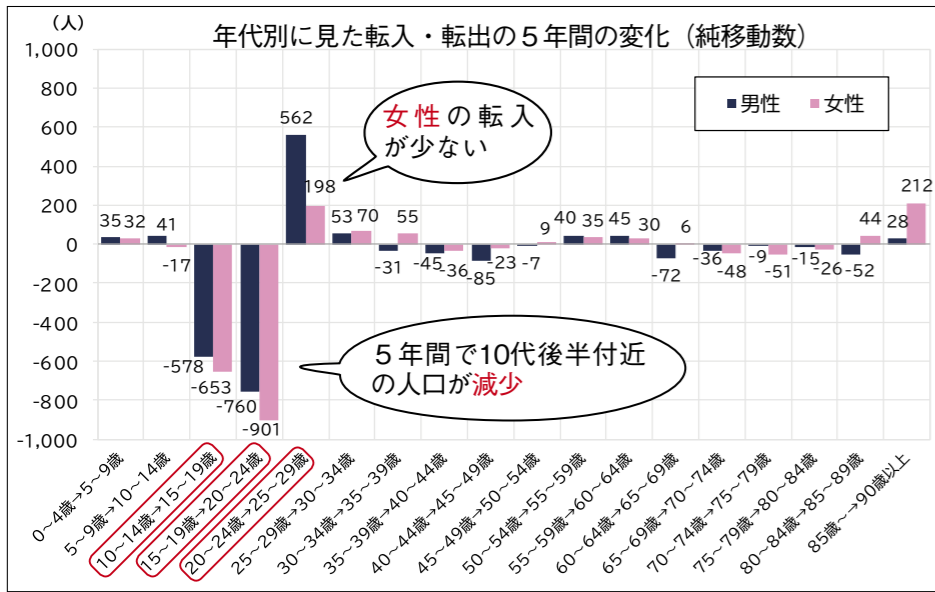
20年後の上越市の人口は、約15万人にまで減少すると予測されています

人口減少が進むことにより、労働力や地域活動の担い手の不足、消費の減退のほか、行政サービスや社会保障制度の維持、インフラの維持・更新の在り方など、市民生活と市政運営に大きな影響を及ぼすことが想定されます。

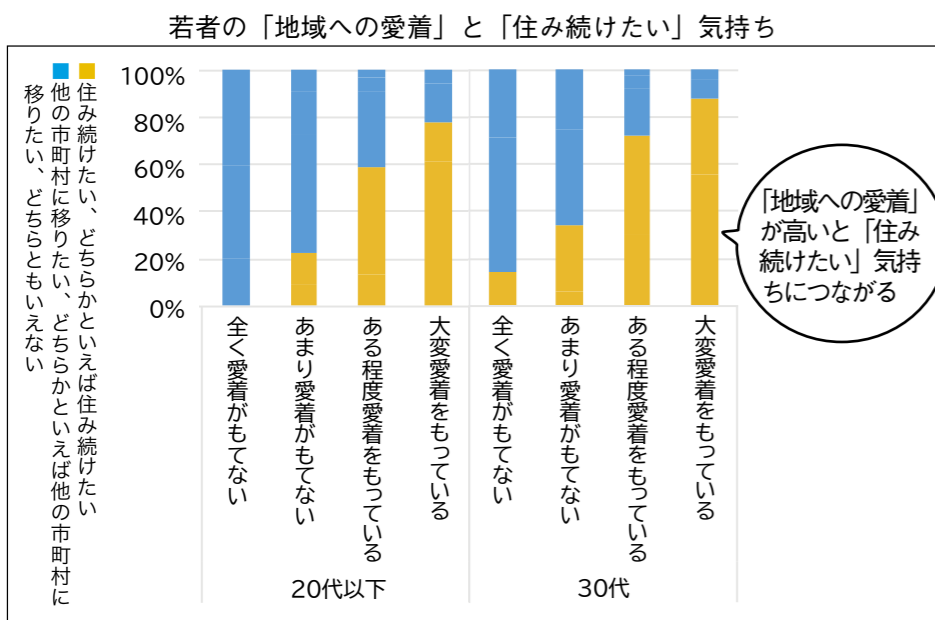
長期的な人口の推移と将来推計人口



出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成30年3月推計）より作成。
※平成12年以前の数値は、現在の市域に合わせて組み替えたもの。



転入数が転出数を下回る「社会減」
平成22年と平成27年の「国勢調査」を比較し、年代別の5年間の転入・転出状況を推定すると、20代前半から20代後半にかけて転入の傾向が表れるものの、進学などにより10代後半の転出数が顕著となり、全体として転入数が転出数を下回る傾向となっています。こうした社会減が二つ目の要因です。



出典：上越市人口減少に関する市民アンケート調査（平成31年4月～令和元年5月）

人口減少対策のヒント
若者世代においても「地域への愛着」が高い人ほど、当市に「住みたい」気持ちが強くなっています。このため、将来的なUターンの増加に向けて、高校生などに地域への理解と愛着を深める取り組みを進めています。
また、人口減少の緩和や持続可能なまちの形成に向けて、「しごとづくり」「結婚・出産・子育て」「まちの活性化」などの地方創生の取り組みを推進していきます。

『若者・子育て世代にとって「選ばれるまち」「住み続けたいまち」の実現』を目指して

市では、地域を挙げた地方創生（人口減少対策）の取り組みをより一層推進していくため、皆さんとともに行動していきたいと考えています。

地方創生を一緒に取り組む団体を募集しています

「上越市まち・ひと・しごと創生推進協議会」では、市内の官民の多様な団体、企業が力を合わせ、魅力的なしごとづくりや、結婚・出産・子育ての希望の実現、まちの活性化などに取り組んでいます。

協議会に参加し、各団体との情報共有や連携、支援制度（補助金など）の活用を通じ、一緒に取り組んでいただける団体を募集しています。

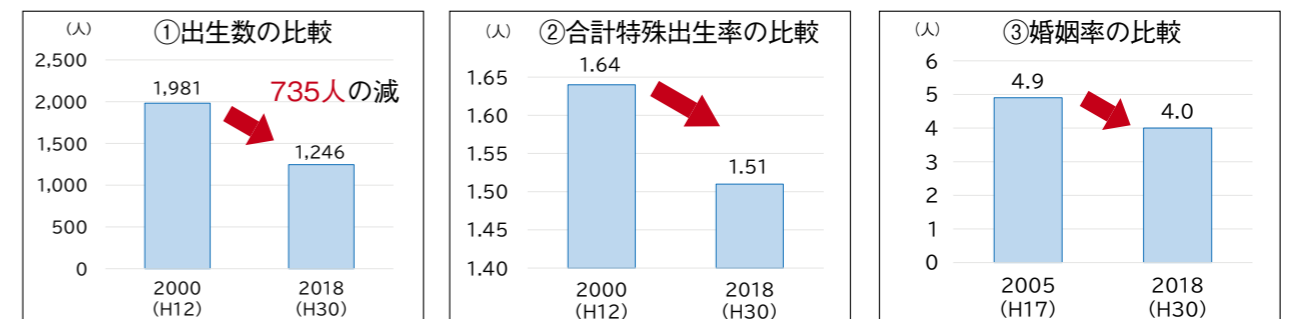
▶対象…市内での継続した活動実績のある民間団体、NPO法人、企業など

▶申し込み・問合せ…任意様式に①団体名、②所在地、③代表者名、④担当者名、⑤連絡先、⑥主な活動（定款などを添付）、⑦実施予定の地方創生に資する取り組みを記入し、郵送またはメールで上越市まち・ひと・しごと創生推進協議会事務局（企画政策課内、〒943-8601 木田1-1-3、☎025-526-5111、内線1851、✉kikaku@city.joetsu.lg.jp）へ

なぜ上越市の人口は減り続けているのか？

出生数が死亡数を下回る「自然減」

自然増減を左右する要因の一つである出生数は減少傾向にあります（グラフ①）。また、1人の女性が生涯に産むことが見込まれる子どもの数を示す合計特殊出生率も低下しているほか（同②）、出生数に関連する婚姻率も低下しています（同③）。こうした自然減が一つ目の要因です。



出典：①、②厚生労働省「人口動態調査」 ③新潟県人口動態統計の概況（婚姻率は、人口千人に対する婚姻件数の割合）